

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

なし

(発行年 / Year)

1910

愛知縣早川半三郎外貳拾壹名請願貴族
院議決民法及民法施行法中改正ノ件
御參考ノ爲メ同院意見書竝請願書寫及
送付候也

明治三十五年三月十七日

司法大臣男爵清浦奎吾

法典調査會總裁伯爵桂太郎殿

内

閣

意見書

民法及民法施行法中改正ノ件

愛知縣西加茂郡譽母町平民早川年三郎外

二十一名呈出

右ノ請願ハ民法ノ規定ニ依ルトキハ廢絶家ヲ再興スル者ハ唯其家各ノミヲ相續シ前戸主ノ有シタル財産ハ之ヲ承継スルコトヲ得ス是レ法律カ廢絶家ノ再興ヲ認めタル旨趣ヲ貫ク能ハナルモノニシテ終ニハ廢絶家ヲ再興スル者ナキニ至ルヲシ因テ民法施行前廢絶家トナリタルモノニシテ民法ノ規定ニ依リ未タ財産ノ處分ナキモノ及相續人曠闕ノ場合ニ於テ民法第六十九條ノ規定ニ依リ未タ國庫ニ歸屬セザル相續財産ニ付テハ親族會ニ於テ擇定シタル相續人ヲシテ相續財産ヲ承継スルコトヲ得セシメ從テ廢絶家再興ニ因リ相續財産ヲ承継シタル者ハ其家ヲ廢スルコトヲ得スト規定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ顯意ノ大體ハ採擇スルモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

法典調查會

明治三十五年三月四日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

紹介義負中西光三郎

廢絶家相續人財產取得ニ関シ民法及民法施行法修正ノ儀ニ付請願書

三河國西加茂郡譽母町

早川半三郎外貳拾名

内

閣

廢絶家相續人財産取得ニ関シ民法及民法
施行法修正ノ儀ニ付請願

修正ノ要旨

民法ノ規定ニ因リ相續人廢絶ノ場合ハ其
財産ハ國庫ニ收属ス然ルニ其手續施行前
廢絶家ノ相續人アルニ際セバ其最終戸主
ノ有セシ權利ヲ取得セシメントスルニ
リ別紙正條中修正具備致候

右請願ノ要旨速カニ御採用被成下度議院法第

法典調査會

六十貳條ニヨリ此段譯テ請願仕候也

追テ別紙中朱書ヲ加フル者ハ修正ニ係レ

明治三十五年壹月貳拾九日

右請願人

西加茂郡舉母町七百五拾貳番戸

平民南 早川半三郎

天保十三年九月二十番庄

西加茂郡上郷村今草井五番戸

平民農 魚登農夫

天三年四月十五番庄

外貳拾名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

民法施行法

明治參拾壹年六月十五日

法律第拾壹號

第九拾貳條 相續人曠飲ノ場合ニ関スル民法ノ
規定ハ其施行前ニ開始シタル相續ニ付テハ其
施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス
民法施行前廢絶家トナリタル者ニシテ民法ノ
規定ニ因リ未タ財産ノ處分ナキ者親族會ニ於
テ相續人ヲ揀定シタルトキハ最終戸主ノ有セ
シ權利ヲ取得スルコトヲ得

民法施行法修正ノ理由

廢絶家再興者ニ於テ財産ノ相續出來ガルニ於
テハ將來廢絶家再興者ナキニ至ルノ恐アリ案
スルニ民法ノ規定ニ因リ國庫ニ收屬セサル者
ノ相續人ハ財産ト共ニ相續スルハ相續人當然
ノコトト信ス然ラガレハ折角相續スルモ祖先
ノ恩ヲ輕重夫レ幾何ノ故ニ相續人ハ家名財産
共ニ前主ノ有セシ權利ヲ取得セシメントス
ニアリ

民法

明治參拾壹年六月拾五日法律第百九號

第四編 親族

第貳章 戸主及家族

第參章 戸主權ノ喪失

第七百六十貳條 新ニ家ヲ立テタルモノハ其家ヲ廢スルコトヲ得

家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者及親族會ノ授定ニ因リテ戸主ト爲リ其財産ヲ取得シタル廢絶家再興者ハ其家ヲ廢スルコトヲ得ス但本家ノ相續又ハ再興其他正當ノ事由ニ因リ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ此限リニ在ラス

第五編 相續

法典調查會

第五章

相續人ノ曠廢

第一千五百九條 前條ノ期間内ニ相續人タル權利ヲ主張スル者ナキトキハ相續人財産ハ國庫ニ歸屬ス此場合ニ於テハ第一千五百九條第六條第二項ノ規定ヲ準用ス但本條ノ手續ヲ爲ササル者親族會ニ於テ相續人ヲ授定シタルトキハ廢絶家最終戸主ノ有セシ權利ヲ取得ス相續債權者及受遺者ハ國庫ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得ス

民法修正ノ理由

廢絶家ノ相續人ハ家督相續人ト同殊ナサント
スル者ニシテ其財産ハ民法ニ於テハ國庫ニ收
属スル者ナリ然ルニ財産アリテ相續人アルハ
人情ノ然ラシムル慮ナレハ家名ノミノ相續ハ
拾中ノ八九莫揆ニ當ル者ナキハ明瞭ナリ將來
家名ヲ永續セシメントスレバ是非失財産ト共
ニ相續セシメサルノ己ウヲ得サル者ナリ